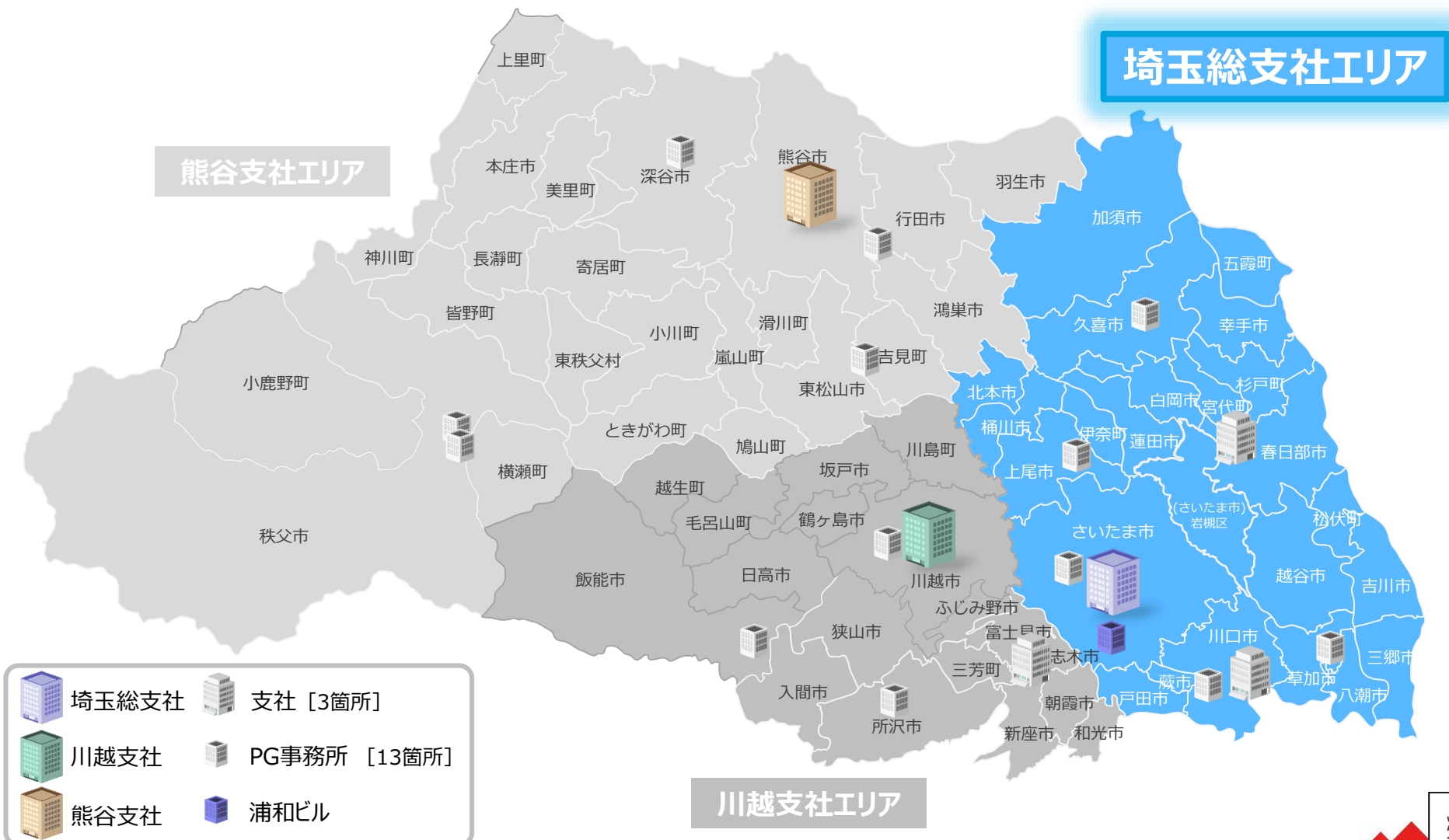


▶ 埼玉総支社の受け持ち区域（県内）

- 埼玉総支社は、埼玉県の東部エリアを管轄しています。県内その他エリアは、川越支社と熊谷支社が管轄しています。

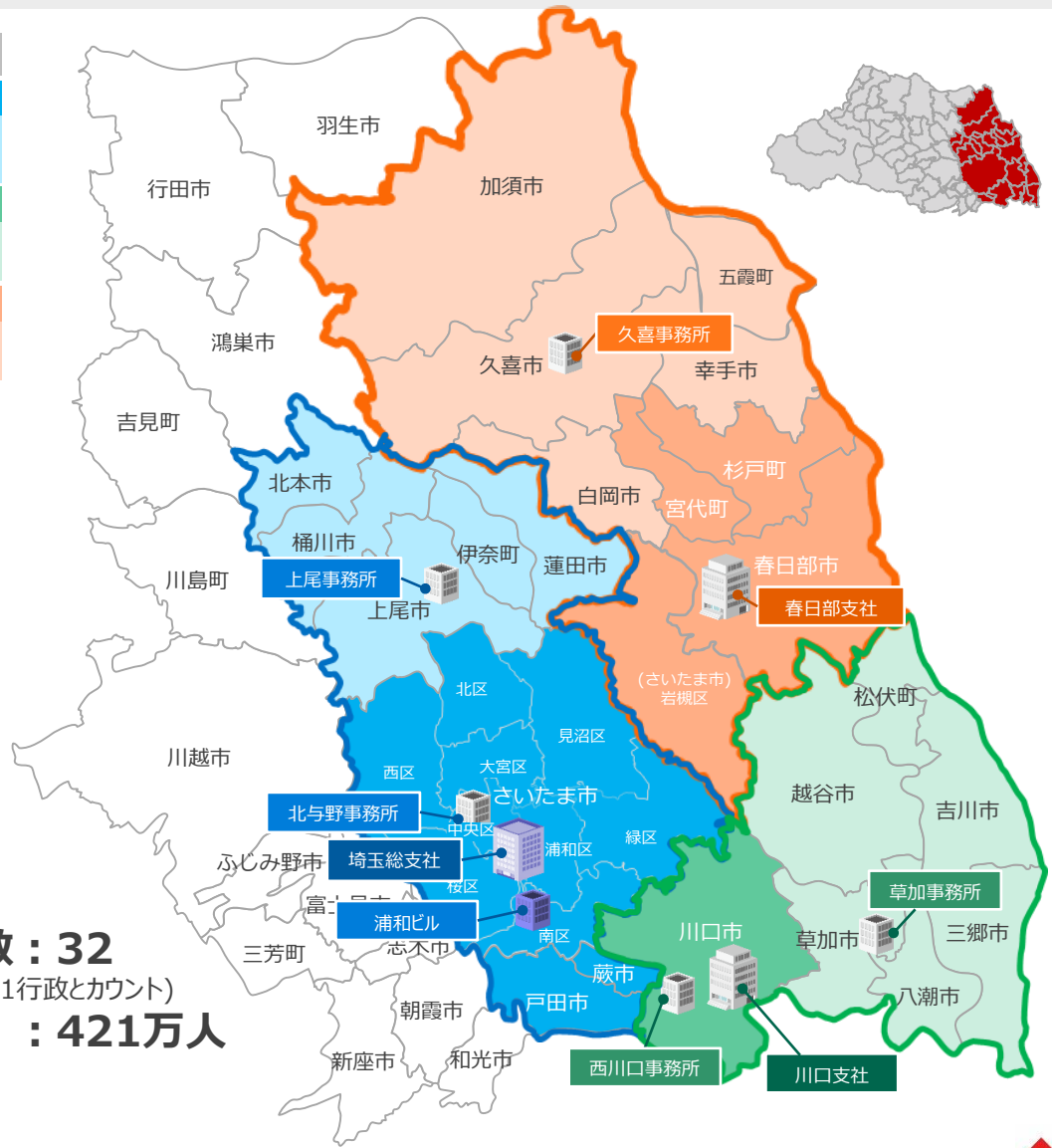
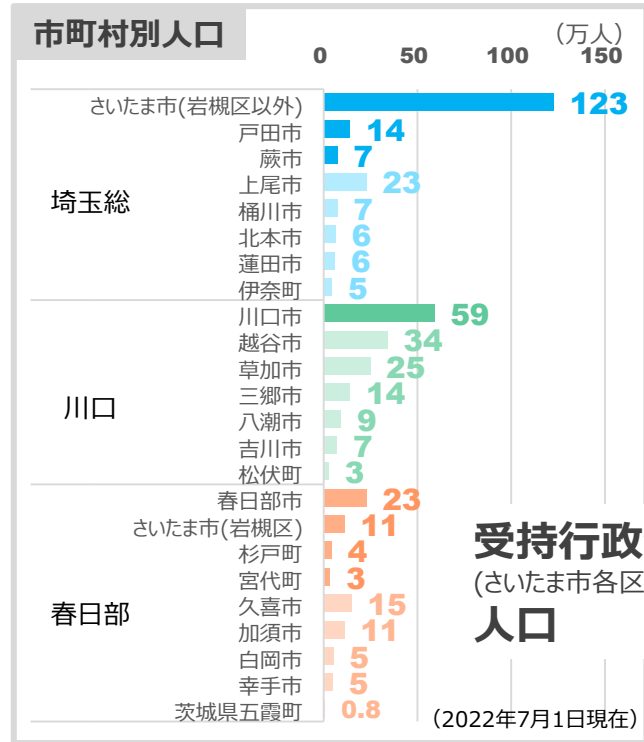


東京電力パワーグリッド（株）埼玉総支社の概要と安全の取り組みのご紹介

▶ 埼玉総支社の受け持ち区域（総支社内）

● 埼玉総支社内は「さいたま・上尾」、「川口」、「春日部」の三つのエリアに分けています。

エリア	市町村
さいたま・上尾エリア	さいたま市（岩槻区以外）、蕨市、戸田市
	【上尾エリア】 上尾市、桶川市、北本市、蓮田市、伊奈町
川口エリア	川口市
春日部エリア	【草加エリア】 草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま市岩槻区、春日部市、宮代町、杉戸町
	【久喜エリア】 白岡市、久喜市、幸手市、加須市、五霞町（茨城県）



▶ 埼玉エリア諸統計

人口・面積など

	埼玉県域	全 店	(神奈川)	(千葉)
面積(km ²)	3,798(10%)	39,575	2,416	5,158
人口(万人)	726(16%)	4,503	913	622
契約口数(万口)	438(15%)	2,945	551	398
販売電力量(億kWh)	341(14%)	2,471	438	334

2015年度末現在 (出典:「数量でみる東京電力」-事業概要-地域別事業規模より)
 () 内は全店に占める埼玉県域の割合

総支社・支社の概要

	埼玉県域	埼玉 総支社	埼玉総 エリア	川口 エリア	春日部 エリア	川越	志木	熊谷
社員数	1283	644	393	144	107	232	126	281
受持行政数 (さいたま市各区=1行政とカウント)	73	32	16	7	9	8	10	23
面積(km ²)	3,798	1,006	324	246	436	524	277	1,991
人口(万人)	734	421	192	152	78	72	137	104
世帯数(万軒)	323	187	86	68	33	32	61	43

社員数 2022年7月1日現在

埼玉県推計人口・世帯数：2022年7月1日現在 (出典：埼玉県HP)

面積 2022年4月1日時点 (出典：国土地理院HP)

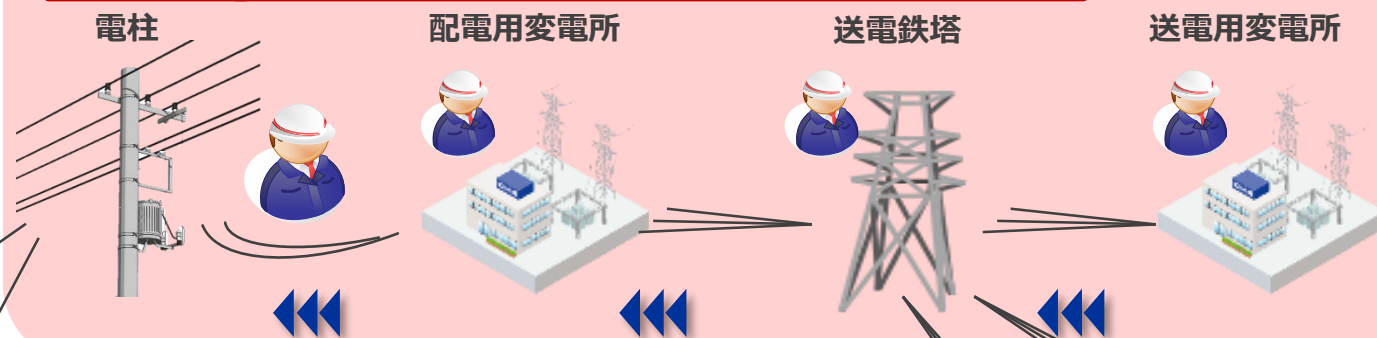


➤ 埼玉総支社の業務内容

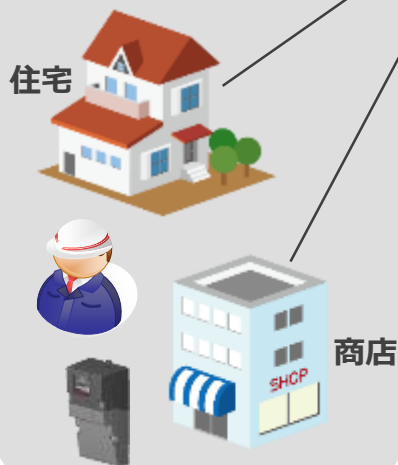
- 東電パワーグリッドの現場第一線組織として、埼玉県東部の32行政区を担務する支社機能を担っています。

変電所：電圧の昇降・流れを変える

工事 送変配電設備の建設，運用，保守



料金・技術
サービス業務
(検針,計器管理等)



地域のお客さま，行政対応窓口

社内外の一般管理業務
(労務,経理,建物管理等)



▶ 埼玉エリアの部門別設備量

部門別の設備量

		埼玉県域（全社比）	埼玉 総支社	埼玉総 エリア	川口 エリア	春日部 エリア	全 店	神奈川	千葉	
変電所	認可出力（万kVA）	4,778（17.2%）	1,661	469	759	433	27,825	3,794	4,520	
	箇所数	214（13.3%）	111 [112※]	43 [44※]	44	24	1,613	227	187	
架空送電	亘長（km）	2,010（13.9%）	772	-	-	-	14,470	1,405	1,911	
	支持物基数（基）	5,660（12.8%）	2,292	-	-	-	44,091	4,741	5,758	
地中送電	回線延長（km）	834（9.3%）	636	-	-	-	8,941	1,920	993	
配電	架空	支持物基数 （千基）	970（16.2%）	461	171	148	142	5,991	769	1,013
		変圧器台数 （千台）	362（15.7%）	180	67	64	49	2,299	287	371
	地中	配電箱 （千台）	8.6（7.6%）	5.8	3.3	2.0	0.5	112.9	17.1	7.4
		変圧器 （千台）	29.9（10.8%）	18.8	10.0	7.3	1.5	276.8	59.7	23.9

配電：2022年3月時点（出典：「諸統計資産単位一覧」）

変電・架空送電・地中送電：2022年3月時点（出典：「設備要覧」）

[]内は開閉所1箇所（大宮公園開閉所）含む場合の箇所数



➤ 安全意識向上 [キャンペーン活動] 1 / 2

- 安全意識向上活動の一環として、埼玉県域全体でキャンペーンを開催。
- 管理者と現場間の安全意識向上を念頭に、下記スローガンに基づいて実践。

スローガン

**コミュニケーション力を高めて
人身災害と物損事故をなくそう！**

● チカラを入れる3つの活動

- ✓ 『3現』と向き合う 安全パトロール
- ✓ ホンネを話しあう 対話活動
- ✓ みんなで実践 安全運転



The poster features a green background with white and red text. At the top, it reads '安全キャンペーン期間中' (Safety Campaign Period) in large red characters, followed by '2022年5月9日～6月30日まで' (From May 9, 2022, to June 30, 2022) in smaller red text. Below this, it says 'コミュニケーション力を高めて 人身災害と物損事故ゼロへ' (Improve communication skills to achieve zero human casualties and property damage). A green box contains three bullet points: '✓『3現』と向き合う 安全パトロール' (Face '3 realities' with safety patrol), '✓ホンネを話しあう 対話活動' (Talk honestly with dialogue activities), and '✓みんな実践 安全運転' (Everyone practices safe driving). The central image shows a hand holding a green cross symbol, with three cartoon characters below. At the bottom, it says '安全最優先' (Safety is the top priority) and '東京電力パワーグリッド 埼玉総支社/川越支社/蓮谷支社' (TEPCO Power Grid, Saitama General Branch / Kawagoe Branch / Renya Branch).



➤ 安全意識向上 [キャンペーン活動] 2 / 2

安全パトロール / 対話活動の推進

- 現場の安全意識向上に一定の効果を確認した。
 - ・過去災害の再発防止対策状況の定着を確認。
 - ・現場の声を聴き取りし実態を把握 ⇒ 安全対策へ展開。

[はさまれ・巻き込まれ防止]



回転部への注意喚起表示

[感電防止]



絶縁マット使用による配線作業

[伐採作業のTBM-KY]



リスク抽出キーワードを活用した危険ポイントの明確化

[資材置き場の安全対策]



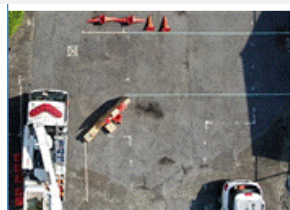
段積み方法の変更を検討

車両運転訓練の推進

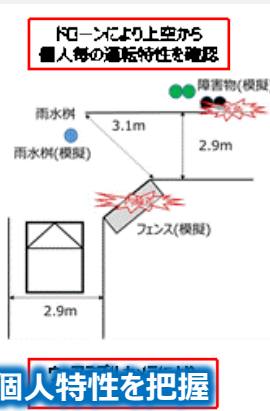
- 訓練の推進により安全運転に対する意識 / 技術向上を図った



模擬障害物を使用した事故再現訓練



ドローンを活用し個人特性を把握



社外訓練施設の活用



➤ 安全意識向上 [会社間の安全情報を共有]

- 東京電力PG関連企業[埼玉]の安全情報を共有する会議を開催
- “安全協議会”とし、各社の課題解決と安全性向上を推進

各社安全活動情報の共有 ※抜粋 [熱中症対策について]



安全装備品の紹介

傾斜地滑落防止方法の紹介



梯子墜落防止への気づきへ

施設見学[危険体感訓練施設]

トラッキング現象



グラインダー 弾かれ体験



回転部巻き込まれ体験



墜落体験

